

東警察署少年補導員等連絡協議会

今後の課題③～補導員の年齢の高齢化～

若い人が少年補導員にならない。3年毎の委嘱年度に退任者が多く、各地区で人集めに苦労している。

年齢の構成割合が60歳以上が多い。地区によっては補充できずに苦労している。75歳定年制のため、3年に一度10名から20名の欠員が発生します。多くの方が兼職をされていますが、令和7年度東警察署管内充足率100%です。

今後の課題④～全国の動き～

全国組織ではボランティアとしての活動が充実してきている。全国の補導員会は青少年健全育成委員会のような活動に変化している。子供の居場所づくり、農業体験、学習支援、スポーツ体験活動、カヌー体験、ケーキづくり、クリスマスリースづくり等の活動で成果が出てきている。全国では少年警察ボランティア協会に組織が移行している。47都道府県中18県が少年ボランティア協会を名乗っている。

ボランティアは有償ボランティアと無償ボランティアがある。札幌東はその中間と思える。

今後の課題⑤～活動予算が足りない～

道警から年間4500円の報償費が個人に出ている。個人には1500円だけが残る

そのうち1000円が道・札幌方面の組織へ保険や表彰に使われる。2000円が東区の活動費となる。研修や総会、装備品になる。112名×2000円=224000円が年間活動費

私の記憶では50年前から報酬は4500円です。消費税や物価や郵送料の値上がりもありました。

全国の動きから活動を充実させるためには活動予算をどこかからか持ってくる必要があります。

他団体からの情報が欲しい。

活動予算の確保についてこの交流会において他団体との交流から情報を得たいものです。

今回の他団体との交流で活動を充実させるために他団体の活動予算についての情報を得たいものです。

行政からの援助、町内会から、企業から。クラウドファンディング？